

令和6年11月27日

北秋田市議会

議長 堀部 寿 様

第 C 班班長 久留嶋 範子

### 議会報告会実施報告書

議会報告会を下記のとおり実施したので、北秋田市議会報告会実施要綱第 10 条第 1 項の規定により報告する。

### 記

日 時 令和6年11月17日（日） 午前10時～

場 所 北秋田市交流センター

市民参加者 12名

第 班議員名（班長）久留嶋 範子  
（司会）佐々木 正史  
（記録）佐藤 文信  
（報告）小笠原 寿

添付書類 会議記録

<次第>

1. 開会あいさつ
2. 議会報告
3. 質疑応答
4. 意見交換会
5. 閉会あいさつ

質疑応答（要約）

質疑（意見・要望・提言等）	議員の答弁
<p><u>（議会報告について）</u></p> <p>Q介護保険事業計画では、保険料負担が増加しているのは年金生活者は死活問題である。一方で余ったお金は基金に積増をしていることについての考えは。（基金をもっと活用してほしい）</p> <p>Q市民病院での産科病床が廃止されたことについて、若い世代でも残れる政策が必要ではないか。</p> <p>●市民病院には多額の負担をしているが、有名な医師を招へいすることでインターンとスタッフの増加が見込めるのではないのか。</p> <p>●スタッフの対応は良くなったが、医師の態度が悪い。</p> <p>●部活動の地域移行について、指導者確保と会社との関係では補助金の対応を考えては。</p> <p><u>（災害対策について）</u></p> <p>●防災ラジオについて、良い点と悪い点の両方の意見がありました。</p> <p>●防災ラジオだけではなく、SNS、メール等の活用も考えてみるのも大切であります。</p>	<p>A保険料は一定の算式により算定をしています。基金への充当は万一にそなえるために積立をしています。</p> <p>A廃止については、助産師の確保の見通しがつかないと説明を受けています。妊婦への対応は周辺の病院にお願いをしています。</p>

●社会環境の変化で町内会での防災意識の低下が見られます。特にリーダーのなり手が不足しています。

●子供への連絡が課題である。

●自治会をあてにしている当局にも課題がある。

●自主防災組織の良い例を他の自治会に知らせることも大切では。

Q 自主防災組織についての組織率は。

●防災士の資格を取ることに補助を出すことも考えては。

●伊勢町では自主防災組織はあるが、どう運営するのか協議を重ねている。障害者や病気になっている方については別々に対応することが大切である。

●自分の命は自分で守る意識を持つことが大切である。

Q 災害時における電源の確保が重要である。市の対策は。

●車の活用でシガーライターからの電源を考えることも大切であります。

#### (その他)

Q 公共料金の改正について、住民が主役になっていない。例として、下水道料金が10月から値上げされたが、なぜ値上げしなければならないのか説明が不十分である。

Q 道の駅についての現状は。

A 自主防災組織は市全体としては約 22%であるが、鷹巣地区では少ない。どう進めるのが課題であります。

A 非常用発電機は鷹巣地区で 15 台。市全体では 33 台あります。

A 審議委員会からの答申を基に提案され決定をしています。

A 調査測量設計委託と用地補償調査委託が計上されています。